

# 乗鞍岳

Mt. 乗鞍スキー場 ▶ 位ヶ原 ▶ 乗鞍岳(剣ヶ峰) ▶ Mt. 乗鞍スキー場

1泊2日 / 適期 年末年始〜5月上旬

技術 体力ポイント  
ルートはほとんどがなだらかでも、稜線は風が強く雪面も硬い。下山は長いので、しっかりと歩ける体力が必要。

## 小屋泊まりで手軽に登れる3000m峰入門コース

年末年始と2月上旬から位ヶ原山荘が営業するおかげで、3000m峰のなかでもとくに登りやすい乗鞍岳。夏は豊平まで車道が通っている観光地のイメージだが、雪に閉ざされる冬季は自然の厳しさを味わえる。天候がひとたび崩れば、冬の高峰の厳しさに変わりはないので、油断せずに雪山登山を楽しもう。



標高3026m、鳥居の立つ山頂

【コースガイド】  
第1日 Mt. 乗鞍スキー場がオープンしていればリフトを利用して一気に標高を稼ぐことができる。強風などでリフトが動かないときはゲレンデを歩いて登る。通常はリフトを3本乗り継ぎ、いちばん上のかもしかりフト終点からスキーのツアークコースを登っていく。ツアークコースはスキー用に樹林が広く切り開かれているので、天候が悪いときでも迷うことはない。

ツアークコースには間隔をあけて番号札がついており、6番の札から曲がれば、ほどなく位ヶ原山荘への分岐に着く。分岐には看板を立ててあるので見落とすことはないだろう。分岐から目印の赤布をたどって右手の樹林に入り、車道に出たら、それをたどって位ヶ

原山荘に向かう。途中左手の沢筋から雪崩が出ることもあるので注意して通行しよう。位ヶ原山荘は車道側の入口は閉じており、裏手から入る。テント泊の場合はこの付近で張るか、先ほどのツアークコース終点の分岐付近でもよいだろう。山荘にはコタツやだるまストーブもあり、快適に過ごせることの上ない。

第2日 位ヶ原山荘を出発し、車道を少し戻る。夏道と同じところから雪の斜面を登っていくが、やや沢状になっていくので念のため左手の樹林に沿って登っていくのがよいだろう。雪がやや多くトレースがないと疲れるところだが、長くは続かない。ひと登りで一段上の雪原に出て、乗鞍岳の峰々が姿を見せる。振り返ると樹林の中に位ヶ原山荘が



稜線一帯は北アルプスの展望台となっており、眺めは秀逸



位ヶ原山荘からやや沢状の斜面を樹林に沿って登っていく



